

市議会報

大野

№.44

発行 大野市議会

TEL 6-1111

(内線 303)

印刷 松浦印刷

1月臨時市議会

豪雪対策特別委員会を設置

市民生活安定確保に向けて



道路確保に全力を挙げて除雪に取り組む

今冬は38年をしのぐ豪雪に見舞われ、市は12月29日設置の雪害対策本部を、1月7日には豪雪対策本部と名称を変更して万全の体制に入りました。しかしその後の降雪見通しを考えた場合、市民の不安はつるばかりであり、市民生活は極度に脅かされてきている。かかる事態に対処するため議会も強力な体制を確立し、市民生活の実態を探ってその対策を講じ、被害の実態を十分に握して国・県等に要請していくなど、市民生活安定確保を図るため、第192回緊急臨時市議会を8日に開会し、「豪雪対策特別委員会」を設置しました。

委員は次のとおり。

(◎委員長、 ○副委員長)

- | | | | |
|--------|--------|-------|------|
| ◎斉藤 秀雄 | ○砂子 三郎 | 田原 哲也 | 幅口 登 |
| 兼井 藤波 | 高津 靖生 | 安田 武雄 | 宮本 弘 |
| 米村 喜六 | 奥村 忠光 | 山本 武 | |

福田 一氏を 名誉市民に推挙



第190回9月定例会で条例が制定された「大野市名誉市民」の第1号に福田一氏を推挙し

たいと提案され、12月15日の本会議において全会一致で同意しました。同氏は現在衆議院議長の要職にあり、長期にわたって国会議員として国政に参画し、郷土の発展と公共の福祉に貢献した功績が認められたものです。

12月定例市議会

一般会計に1億1,152万円追加

国土利用計画の策定
54年度歳入歳出決算認定 **>は継続審査**

第191回12月定例会は12月15日招集され、会期を23日までの9日間と決め、昌頭に名譽市民第1号として福田 一氏推挙の提案を全会一致で同意し、続いて市長提案の10議案を審議しました。その結果「議案第71号国土利用計画の策定について」は総務委員会に付託「議案第72号昭和54年度歳入・歳出決算認定について」は決算特別委員会を設置、委員を別掲のとおり選任してこの委員会に付託し、慎重に審査するためそれぞれ継続審査としました。他の8議案については、原案どおり可決しました。また、請願・陳情を別掲のとおり決め、最終日には議員提案の「越美北線存続並びに越美線全通促進に関する決議」を可決し、12月23日閉会しました。

一般
質問休日急患センターの着工
見通しはどうか

問 休日急患センターの着工見通しはどうか、また市民の要望は、究極的には総合病院の建設にあるが、これら医療施設の全体的構想を聞きたい。

答 地域医療協議会の答申に沿って休日急患センター・保健センター・准看護学院を含めた施設とし56年度に着工したい。市民要望の総合病院については、段階的にその方向へ進めるべく用地の確保に努力したい。

国道158号線バイパスを国
の直轄で早期完成を期せ

問 国道158号線バイパスの早期完成は本市の発展に欠くことの出来ない最重要課題であり、市民の永年にわたる悲願である。しかし現在の事

業進行状況ではいつ完成するか全く見通しが立たない。この際国の直轄事業として行うよう運動を展開していくべきと思うが、どうか。

答 福井市前波から足羽町三万谷に至る第1期分工事は、概算で30億ないし40億円の膨大な予算が必要である。毎年の工事費は極めて少なく、しかも用地交渉が難航するなど、遅々として進まず確実な見通しも立っていない。現在油坂ずい道工事を国直轄で施行しているので、果たして同じ路線で2ヵ所採択されるかどうか。今後十分研究し早期完成に努力したい。

昭和56年度予算編成方針
について

問 昭和56年度予算編成に当たっては、市長就任3年目を迎えることでもあり、川崎カラーを打出すべきと思う。また重点施策をどこに置くのか基本計画中の56年度の重点事業は計画どおり遂行出来るのか。

答 市政全般の均衡を心掛けながら特に生活環境基盤整備や公共施設の整備に重点を置きたい。基本計画については3ヵ年のローリング方式で進めている。今日国の財政事情・景

気の低迷等は厳しいと思うが、来年度計画している事業は予定どおり実施出来ると確信している。重点施策としては、本市の最大の課題である医療施設の建設を初め、阪谷小と有終西小の体育館、歴史資料館等公共施設の整備であり、また農政についても、来年度農村総合整備計画を立て、57年度にモデル事業を進めていく準備をしていく。川崎カラーといっても行政を進める場合そう変化があるものではないと思うが、何か目玉的なものも考えていきたい。

越美北線廃止反対運動
について

問 第93回国会において「国有鉄道経営再建促進特別措置法」が可決され、越美北線が廃止対象路線となっている。今後政令決定までに、廃線除外を目指して本市の切実な実状を訴え、勢力的な陳情活動を展開していくべきと思うが、どうか。

答 冬期間の並行路線の実状を中央によく認識させ、除外への陳情に努力している。今後も市一丸となって取り組む決意である。

問 廃線除外運動の展開も大切ではあるが、我々の手で越美北線を守るためにも、市民に極力国鉄を利用するようPRに努めるべきと思うが、どうか。

答 出来るだけ列車利用を心掛けて赤字解消へ協力している姿勢を国鉄に示す必要がある。市民にも、また美山・和泉にも呼びかけていきたい。

市営住宅の建設見通しは

問 215戸の市営住宅はほとんどが老朽化している。市長は本年3月定例会の本会議で、第1期工事として56年度に北部区画整理地区内に建築したいと述べていたが、その見通しはどうか。

答 56年度に北部第二区画整理地区内に5,000平方メートルの用地を確保し、出来れば昭和57年度に着工したい。

工業再配置促進法に 基づく事業について

問 富田地域に大東染工の移転と都築紡績の進出に伴い、工業再配置促進法・農村工業導入促進法に基づき種々の事業が国の助成を受けて実施出来ることになっている。例えば運動場・体育館・プールなど数多くの事業があるが、市はこれらの事業にどう対応していく考えか。

答 昭和56年度中に具体的な事業を絞り、57年度には出来るものは実施していきたい。

都築紡績の操業見通し について

問 産業構造の改革と余剰労働力の吸収のため誘致した都築紡績は、55年12月一部操業予定と聞いている。その後の進展状況はどうか。また若年労働者の地元定着と中高年齢者の雇用促進を図るため、市の労務対策協議会を通じ万全を期すべきと思うが、どうか。

答 機械の搬入が終り調整中であり、1月中には半分の機械を動かし、3月ごろにはフル操業の予定と聞く。ただ設備制限令(58年まで規制)で当初の計画より規模は小さくなる。労務対策協議会については、都築紡績も協議会に参加を希望している。中高年齢者の雇用促進は当市の大きな課題であり、協議会を通じて申し入れていきたい。

ゴミの埋立地確保 について

問 現在のゴミ焼却場埋立地は既に限界に近く、早急に代替地を獲得しなければならない事態になっていると思うが、どうか。また埋立地の長期使用等の意味からも分類収集を徹底する必要があると思うが。

答 不燃物ゴミの量に大きく左右されるので、分別収集の徹底を図りたい。埋立地の代替地は投下資本も大

越美北線存続並びに 越美線全通促進に関する決議

第93回国会において可決、成立した「日本国有鉄道経営再建促進特別措置法」による赤字ローカル線の廃止路線として越美北線が対象となっている。

しかしながら、当大野市は全国的にも有数な特別豪雪地帯であり、冬期間のバス運行は極めて困難な状況で、現に国鉄バス大野線は12月15日より翌年3月末までの間運休となっている。

よって、バス輸送への転換対象となる特定地方交通線からの除外規定を適用され、地域住民の生活を守る唯一の生命線として越美北線の存続を強く要望すると

共に、永年に及ぶ沿線住民の悲願である越美線全通に更に一層の運動を展開し、もって目的の完遂を期する。

以上決議する。

昭和55年12月23日

福井県大野市議会



雪に埋まった
国鉄大野駅前ホーム

きく、環境対策もあり目的な代替地でなく、永年月使用可能な場所を検討している。

市立図書館の建設 について

問 正しい社会教育の理念に立って教育施設を考える場合、最も図書館の重要性が感じられる。市の基本計画では58年度に建設を予定しているが、それまでの間自動車図書館を始める考えはないか。

答 公立図書館となると国の助成を受けるためにも、司書資格のある館長が必要である。現に図書館は完成したが館長難で困っている市が県下にもある。立派な人材を得、土地があればぜひ実現させたい。また自動車図書館については、県の方から配分されている図書が、市内各公民館の要請に応じて配本されている。一定の日数で取り替える仕組みになっており、十分利用出来ると思う。

地下水保全対策に 料金制を導入しては？

問 市の地下水保全条例では、屋根の融雪には万やむを得ない場合を除き地下水の使用を禁止している。しかしこれを無視して使用する者が多く、規制することはなかなか困難である。この際全戸にメーターを取り付け、料金制を導入して公平な地下水対策を進めるべきと思うが、どうか。

答 全戸にメーターを取り付けることは、市民全体の合意が得られなければ、現実的には無理である。しかし公平な地下水利用の面からも、全市民の気運が高まれば料金制の導入も考えたい。大口需要者にはメーターをつけてもらい、どれだけ使用しているかを知って節水への自覚を促している。また市民にも「水は無料」という考えを改めるようPRに努めている。

委員会活動

— 委員長報告から —

● 建設委員会

① 区画整理事業等における道路築造について

道路交差点における水路の暗き部分について、ヒューム管伏設では数年たつと土砂等が詰まり、再工事を余儀なくされ二重の投資となるため、今後の工事については設計上このようなことのないよう十分考慮すること。なお組合施行等で行われる場合は、設計上の増額分の一部を市で補助するなど、十分な指導、監督を行うよう要請した。

● 教育民生委員会

① 社会教育における公民館の諸問題について

本会議で社会教育における公民館の今後のあり方について種々論及されたが、教育長の答弁では本市における公民館のあり方や、その方針が理解出来ず、論拠を失うような感があったことは誠に遺憾である。社会教育の重要性がますます求められている今日、早急に教育委員会として理想とする社会教育のあり方を具体的に示し、市民の理解と協力を得てより前進させるよう強く要望した。

② 休日急患センターについて

市は休日急患センター・保健センター・准看護学院の3施設を併設した健康管理施設を昭和56年度着工を目指して、用地の確保等に鋭意努力中であるが、市民の究極的な願いは総合病院の建設にある。市民の期待に沿うよう将来の総合病院建設も考慮の上、用地の確保に万全を期されたい。

● 総務委員会

① 総合計画策定について

基本構想策定については、昨年12

月議会に上程され、継続審査として慎重な審議が行われ本年3月に議決した。その審議の過程で、基本計画作成に当たっては構想の実現を分野別に、また具体的な施策を明らかにするという重要性から、議会側に対してもよく協議願いたいと強く要請していたにもかかわらず、議会側が全く予知することなく、過日市の指針となるべき総合計画が製本化され配布された。

もちろん基本計画策定は法的には議決を要しないとしても、市民参加の市政を推進することが行政の基本である以上、その理念を大きく逸脱したことは誠に残念である。また市民の信託にこたえなければならない議会側としても責務は重大であり、誠に遺憾である。今後はかかることの

決算特別委員会を設置

昭和54年度大野市歳入・歳出決算認定について、慎重に審査するため特別委員会を設置する。委員は次のとおり。

(◎委員長 ○副委員長)

◎尾崎 坤一 ○栄 正夫
兼井 藤波 羽生 長
高津 靖生 斉藤 秀雄

ないよう強く反省を促すとともに、公共施設配置計画など諸施策について均衡ある地域の実現を図るため、また適正かつ計画的な土地利用の推進の上からも、今後の十分な検討方を強く要望した。

市民から提出された請願・陳情

採択されたもの

番号	件名	提出者
請願11	集会場について	中荒井町3丁目区長 明石 学 外区民一同
請願12	河川改修について	高砂町4区長 山田健太郎 外区民一同
請願13	河川改修について	千歳区長 村中 正治 外15名
請願14	保育行政について	私立保育園保護者連合会 会長 矢部 毅 外2,587名
請願15	区民会館の建設について	北大野区長 山村 繁盛 外4名
請願16	公園の設備について	北大野区長 山村 繁盛 外4名
陳情 6	預託金の増額について	福井県労働金庫 理事長 斉藤 敬一
陳情 7	預託金の増額について	福井県労働金庫 理事長 斉藤 敬一
陳情 8	国・県道の市道変更繰延べについて	下庄地区区長会長 四方 軍平 外10区長
陳情10	借入資金に対する助成について	大野織物工業協同組合 理事長 斉藤 政雄
陳情11	借入資金に対する助成について	福井県丸編ニット協同組合 理事長 畑 岡 弘 明
陳情12	市立幼稚園について	大野市公立幼稚園PTA連合会 会長 松原 喜憲 外4名

継続審査となったもの

請願 7	高齢者はり・きゅう及びマッサージ療養費の助成について	大野鍼灸マッサージ師会 会長 酒井 清 外12名
陳情 9	通学路の新設について	菖蒲地区長 松田松次郎 外14名